

第 18 回富士山世界文化遺産学術委員会における主な意見（2 月 4 日）

1 「富士山登山鉄道構想」の進捗状況について（報告 1）

- ・特に質疑はなし。

2 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る遺産影響評価書について（議事 1）

- ・評価書の内容については特に問題ない考える
- ・今後、富士山全体を俯瞰する基本的考え方があったほうがいいのかもしいないが、まずは既存のビジョン・計画等を継承していくことが大切。

3 新型コロナウイルス感染症による富士登山への影響に係る対応について（議事 2）

- ・調査は重要だが、焦点を絞って実施すべき。
- ・今後さらに精密な調査の方法を検討する必要があるが、現状では提出案を承認したい。
- ・コロナ禍で減っている来訪者の影響をまずは調査するものであり、これまでの来訪者管理計画をどうしていくかは、その先の議論となる。